

## 平成29年度 政策・実務研修「子ども農山漁村交流プロジェクト」時間割

共催：総務省・文部科学省・農林水産省・環境省

(敬称略)

日付	曜日	1時限 (9:25~10:35)	2時限 (10:50~12:00)	3時限 (13:00~14:10)	4時限 (14:25~15:35)	5時限 (15:50~17:00)	(課外)		
7/26	水		11:00~12:00 受付 11:30~ 昼食  12:30~ 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【導入講義】 (13:00~ -13:15)  (15分) (◆4)	【学校側の事例紹介】 (13:15~13:50)  特色ある先進的な 取組事例の紹介①  (35分) (◆1)	【受入側の事例紹介】 (13:55~14:30)  特色ある先進的な 取組事例の紹介②  (35分) (◆2)	【コーディネーターの事例紹介】 (14:35~15:10)  特色ある先進的な 取組事例の紹介③  (35分) (◆3)	【パネルディスカッション】 (15:20~17:00)  学校側と受入側との協働による ふるさと生活体験活動の意義 (100分 質疑応答を含む) 学校側(◆1)・受入側(◆2) コーディネーター(◆3) 進行(◆4)	17:30~ 交流会
中教室 4									
7/27	木	【先進地視察】 (8:00~14:20) 滋賀県日野町における受入家庭と生活体験活動の取組  ・ 日野町における体験型観光の取り組み(バス移動) ・ 受入家庭等との意見交換(入村式・各家庭での班別交流、閉村式)  (8:00~9:20) (◆5) (9:20~14:20) (◆4)				【グループワーク】 (14:30~16:05)  ふるさと生活体験活動に 取り組む上で想定される 学校側と受入側の期待と課題  (95分) (◆4)	【講義】 (16:20~17:30)  学校側と受入側の協働による ふるさと生活体験活動の プログラムづくりの要点  (70分) (◆6)		
滋賀県日野町 中教室 4									
7/28	金	【グループワーク・発表・総括】 (9:00~11:10 途中休憩含む)  ふるさと生活体験活動を 普及実践するためにできること (各班による発表を含む) (120分) (◆4, 6) ※オブザーバー：日野町受入家庭(発表のみ)	【国の支援施策説明】 (11:20~12:30)  「子ども農山漁村交流プロ ジェクト」関連支援施策  (70分) (◆7, 8, 9, 10)	12:30~13:00 ふりかえり、研修アンケート記入、閉講					
中教室 4									

- |  |  |
|--|--|
| <p>◆1 広島県呉市立波多見小学校教諭 山形 武</p> <p>◆2 五しの里さじ地域協議会(鳥取県鳥取市)会長 藤原俊文</p> <p>◆3 五しの里さじ地域協議会(鳥取県鳥取市)コーディネーター 谷上雄亮</p> <p>◆4 一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構 次長 花垣紀之</p> <p>◆5 日野町商工観光課 参事 福本修一(一般社団法人近江日野交流ネットワーク)</p> | <p>◆6 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立山口徳地青少年自然の家 所長 小林真一 平成29年7月26日現在</p> <p>◆7 総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室 地域支援専門官 三宅 啓之</p> <p>◆8 文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室 生徒指導第二係員 桑代 康平 名札の色:緑</p> <p>◆9 農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課 教育交流係長 原口 智 研修担当 :防後、小松</p> <p>◆10 環境省自然環境局国立公園利用推進室 エコツーリズム推進係長 加藤 雅寛</p> |
|--|--|